

豊田おいでんまつり 花火大会における人流データ分析結果（報告）

花火大会終了後の復路の混雑緩和のため、トヨタ自動車株式会社及び株式会社豊田中央研究所が第 56 回花火大会の人流データを分析し、停車場線に集中する人流の一部を南側迂回させる混雑緩和案(図 1)を提案しました。

豊田おいでんまつり実行委員会が新たな混雑対策を実施した、第 57 回花火大会の人流データ分析結果によると、花火会場（白浜公園付近）から南側を迂回して帰宅した来場者が前年比 30%程度増加し(表 1)、混雑分散の効果が確認されました。また、花火会場から駅を出発するまでの所要時間を分析した結果(図 2)によると、短時間で帰宅できた人数が前年よりも増加したことが確認されました。

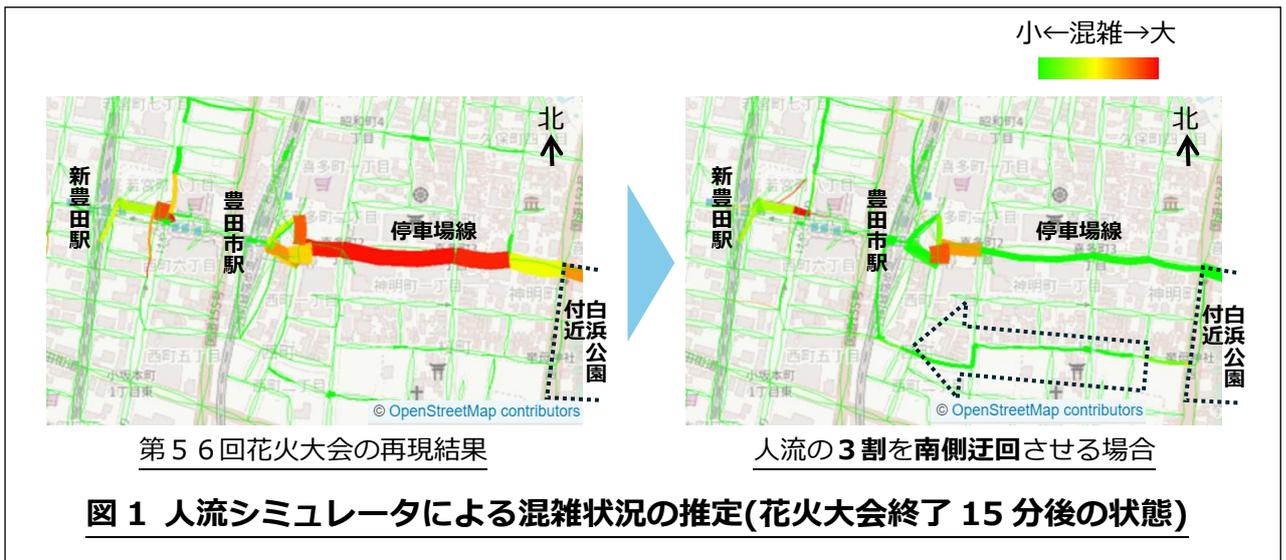
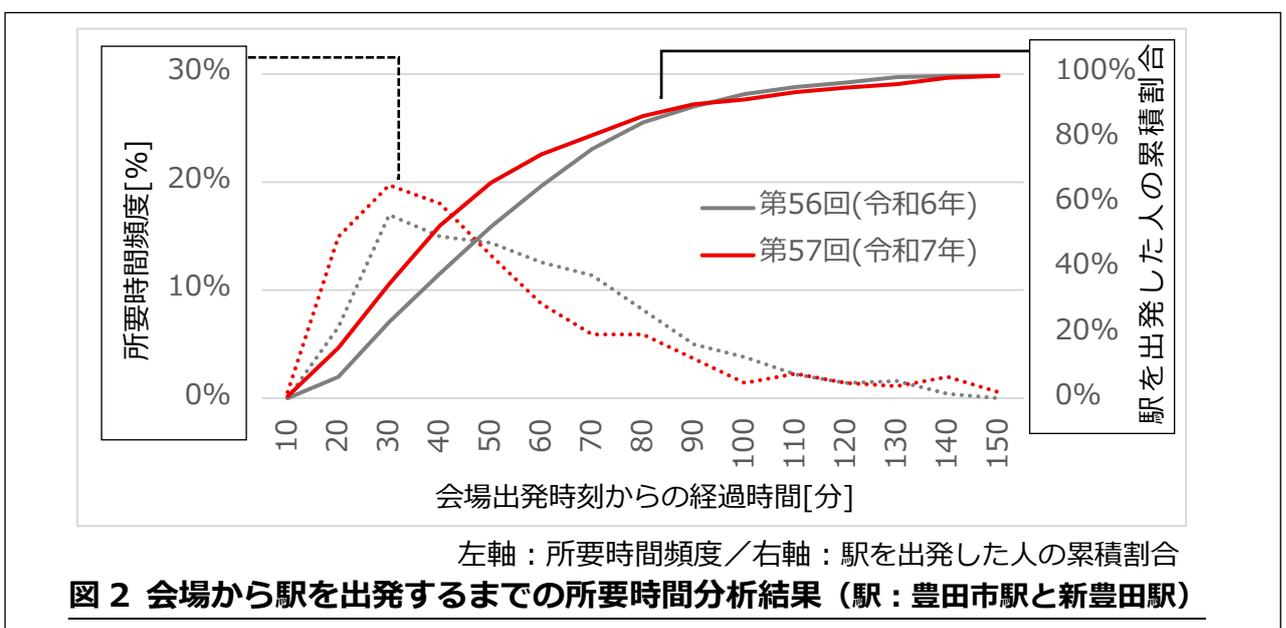


表 1 花火会場(図 1 白浜公園付近)を 20 時台に出発した来場者の経路別人数

経 由	第 56 回(令和 6 年)	第 57 回(令和 7 年)	増減率
停車場線	10,373 人	9,501 人	-8.4%
南側迂回	3,511 人	4,573 人	+30.2%



<使用人流データ>

GeoTechnologies Corp., <https://geot.jp/>

モバイル空間統計, <https://mobaku.jp/>